

## ご挨拶

川上憲人

東京大学大学院医学系研究科精神保健学・精神看護学分野教授

東京大学精神衛生・看護学教室同窓会長

栗田廣名誉教授の後をついで 2006 年から正式に当教室・分野に赴任して丸 5 年が経過をいたしました。これを機会に、2012 年から次の 5 年間に向けての教室の活動指針を公表しました。

精神保健学分野・精神看護学分野ではさらなるイノベーションのために以下を推進します。

1. 積極的な外部との共同研究の推進：国内外のさまざまな機関、研究者との共同研究をこれまで以上に幅広く推進します。
2. 研究成果の社会的発信の強化：研究成果や経験の蓄積を社会に発信します。2012 年は公開講座「職場のメンタルヘルス専門家養成コース」を計画しています。また東日本大震災から一年を経て、精神保健に対するニーズは益々高まりつつあります。これから当教室も一層、被災者や支援者の精神保健支援に携わることになると思います。
3. 大学院教育の充実と国際化：水曜ゼミを英語化することからはじめ、大学院教育の充実と国際化をもう一段階進めます。
4. アジア・世界における国際拠点化：アジアおよび世界の中での役割を認識し、国際研究教育拠点となるべく活動します。

教室の動向ですが、2012 年 3 月には窪田和巳くん、千葉理恵さんが学位論文を提出し、大学院博士課程を修了されました。また稲垣（北詰）晃子さんが単位取得済み退学されました。窪田くんは特定非営利活動法人 日本医療政策機構シニアアソシエイトに就職、千葉さんは公益財団法人 医療科学研究所研究員を継続し、稲垣さんは精神看護学分野の非常勤講師となっておりました。また岡本真澄さん、西本真寛くんが公共健康医学専攻（専門職修士課程）を修了し、それぞれ独立行政法人 国際協力機構 (JICA) および株式会社キャンサーズキャンに就職しました。一年コースを修了された吉村健祐さんは千葉大学医学部精神医学教室に戻られました。また江口のぞみさんが健康科学・看護学専攻修士課程から博士課程（後期）に進学しました。

一方新年度には、公共健康医学専攻（専門職修士課程）から安藤絵美子、三瓶舞紀子、月森彩乃、三木貴子さんの 1 年生 4 名を、健康科学・看護学専攻（修士課程）1 年生に杉本 隆くんを受け入れました。文部科学省科学研究費新学術領域「社会階層と健康」には、昨年 6 月から特任研究員として菅（かん）知絵美さんが、また本年 4 月から関屋裕希さんが特任研究員として着任しています。

教室の研究活動では、2011 年には教室から英文 17 編 (in press を含む)、和文 2 編の原著論文が公表されました。昨年の 27 編から比べると減少しました。しかし 2012 年は現在までにすでに 17 編の原著論文が受理になっており、遅れを取り戻す勢いです。本年度は 7 月 7 日（土）に同窓会を予定しております。また昨年 7 月の厚生労働省発表により精神疾患が「5 大疾病」の 1 つになったことを記念してのシンポジウムも計画いたしました。多数の皆様のお越しをお待ちしております。

末尾になりましたが、本年 3 月 13 日に私の実父が死去した折には、多数のお悔やみ、お心づかいをいただき深く感謝しております。この場をお借りして、御礼申し上げます。